いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地電話三六一番
編輯兼發行人 印刷人
日刊 但月曜を除く
定價一ヶ月十円一部五十錢

農村保健講座を開講
農業會主催で毎月一回ずつ
第一回は來る二十日に開催

農業會石城支部では農村民の生活安定をはかるには先づ農村民の健康生活を期さねばと毎月一回平市公會堂日本間に農村保健講座を開く受講生は農業會、國保職員、保健婦、巡回指導婦、産婆、中小敎員市町村衛生擔當者、會社、工場鑛山等の厚生係および勞組幹部等で農業會支部で五十名選拔するが、講師は縣下の醫師を招き傳染病發生原因と其の對策をはじめ姙娠と母子保護對策、農村衛生問題概念等全般に亘つて講習する、なお第一回は二十日午前十時から公會堂日本間に開くことになり期待をかけられている

救國貯蓄割當決る
經濟復興推進委員會を主體に

25,700萬圓

郡の通貨安定推進委員會は十日平市湯殿山に開き、救國貯蓄の增加目標二億五千七百萬円達成に全郡民の協力をもとめることになつたが、各町村では經濟復興推進委員會が主體となつて農繁期後にはへましい貯蓄締卷をくり展げる、町村目標額つぎのとおり(單位千円)

泉四五〇〇、渡邊二三〇〇植田九五〇〇、山田四九〇〇錦一〇七〇、勿來一三三〇、上遠野五六〇〇、入遠野四〇〇〇、川部六〇〇〇田人六四〇〇、飯野三九〇〇、夏井三一〇〇、高久三二〇〇、豐間四四〇〇、江名二二〇〇〇、鹿島二三〇〇、小名濱二九〇〇〇、磐崎八三〇〇、湯本二三五〇〇、內郷二六三〇〇、好間二八〇〇〇、永戸四七〇〇澤三四五〇〇、神谷三八〇〇、草野五〇〇〇、大浦四九〇〇、四倉一〇〇〇〇、大野四四〇〇、小川四五〇〇、川前二七〇〇

農業保險役員改選

石城農業保險組合の總會は十一日平署會議室に開き役員の改選を行つた、顔ぶれ左のとおり

▲組合長木田森之助(夏井)▲副組合長阿部總山(川部)▲理事酒井專治(大浦)國府田ただ男(平)最瀬彰議(小名濱)永久保次則(澤渡)赤津庄兵衛(勿來)鈴木明(大野)▲監事吉田辰之(小川)生田目耕一(上遠野)

注目される重役會
閉さ宣言した勿來協和化學

勿來町の協和化學纖維工場では昨年十一月來石炭の配給なく、かつ採算上問題から五月三十一日限り操業を中止閉さに決したが、これに對して勞組側は閉さ反對を唱へて鬪爭に入つたので工場側では十六日緊急重役會を開いて態度を決定することになつたが、果してどんな結末となるか成行を注視されている

小名濱農地第二期買收

小名濱町農地委員會では十一日第二期買收計がくに依る不在地主(二)百十二名の田六十町歩、畑七町歩に對し告知、從覧期間を十日間として異議の有無を徵し買收に入る事とした

水産江名に一偉力
製氷設備の大擴充着々進工

江名漁業會では現在の日産十五トンの製氷設備では、漁獲高の增加したこん日到底に合ないので、去る三月來日銀から四百萬円の融資を得る一方用百六キロの電力使用許可を得て、總工費五百五十萬円で設備の擴充中だが、八月までに一切完工をみることになつた完成の曉は製氷日産十五トンのほか冷凍冷藏七十トンとなり、いままで岩手、長野等から入手していた天氷の購入もしないので間に合うもので水産福島を背負うて立つ江名濱に一大偉力を加へるものとして期待されている

五方部で對策協議
ジャガイモの割當適正化に

石城地方事務所では麥、馬鈴薯割當の適正を期するため郡下町村を十方部にわけて基いて資料調査班を編成十日から地方事務所および町村農業會職員がわらじばきで村落の基いて調査を行つている、なお十六日は五方部で對策協議會を開く

◇四倉班(四倉、大野、大浦)◇草野班(神谷、夏井、高久)◇平班(平、飯野、鹿島)◇赤井班(赤井、好間、上、下小川)◇澤渡班(澤渡、三阪、永戸、箕輪川前)◇上遠野班(上遠野入遠野、田人)◇湯本班(湯本、內郷、磐崎)◇小名濱班(小名、江名、豐間、泉)◇植田班(植田、錦、山田、渡邊)◇勿來班(勿來、川部)

濱三郡下新炭組合連合總會

濱三郡下の新炭組合連合總會は十二日午前十時から四倉町海氣館に開き新炭の運搬その他について協議

平工業校の落成式
きよう盛大に擧行

工費百七十余萬円を投じた縣立平工業學校の第一期工事落成式は十二日午前十時から坪井縣敎育民主部長等臨席盛大に擧行した、新校舍は二階建一棟室數十三

兩孃が出場
東北六縣農業會對抗卓球大會へ

東北六縣農業會の第二回卓球大會は十四、五日の兩日宮城師範講堂に開かれるが縣代表として農業會石城支部から川越トモ子、杉本シメ子兩孃が參加することになつた

地方事務所と植田役場對戰

地方事務所チーム對植田町役場チームの軟式野球大會は十四日午後一時から植田小學校々庭で

炭協と鑛連團体交渉
家族手當問題で二十日頃再交渉

縣炭協と常磐鑛業連盟との團體交渉は十日磐女で開始した右は炭鑛勞務者の賃金は坑内夫百八円、坑外夫六十五円と中央交渉で決定をみたが、超過賃金及び特別國體獎與金等の基準外賃金は地方の團體交渉で決めることゝなつていたのでこん回の交渉となつたものだが、この結果縣炭協の拘束八時間制の徹底要求は聯盟側も承認まとまつた、然し家族手當問題は炭協側の要求一人當り百五十円に對し聯盟側は坑内夫十五日、坑外夫十七日の稼動を前提とする條件を提出したのでまとまらず、二十日頃引續いて交渉する

國鐵辨論大會

國鐵平支部では十八日午前十時から市役所公會堂日本間でべん論大會を開催する

初ブリの水揚げ
きのう小名濱の大敷網で

小名濱大敷はいよいよ活氣を呈して來たが、十一日朝丸高漁業部の大敷では初ブリ千六百貫、鯛八百貫を水揚げした初ブリの目廻り一本二貫匁台いずれも東京方面へ出荷した

組合長には吉田勝記氏

石城緬羊組合は五十余の飼養者を一丸として十日結成したが組合長に吉田勝記(泉)副組合長に永山ちう二(川村)兩氏を推した

いわき寸言

◆値下運動もきつばり主食關係には通用せず逆に尻上り、遅配がつゞいては閉口と共にやむないか
◆經濟緊急對策が發表された、食事情は苦しくなるが何とか遅配はせぬようするとあるはうれし
◆耐乏の生活をと望むが大衆はいまも耐乏の生活をつゞけている逆の生活をしているのは果して誰か
◆依然定まらぬ空模様人間にもカビが生へる
◆貿易再開を喜ぶ前に先づ粗惡品の製造を改めることが大切と知るべし
◆街の商品にはなんと粗惡品の多いことか、賣るものとしてより大衆を救うものとして生産したらば…
◆近頃いろいろの團體や會が盛んに結成される流行ものゝ一つか…龍頭蛇尾に終る形式的のものは不用でござる

賣家
平屋十二坪屋根セメント瓦 二十一年三月新築
居間六疊一間。事務室一間。工間
双葉郡久ノ濱町南町(海岸通り)
姓名在社

炭石用油醤噌味
―公休返上で採炭
石炭廳から許可　快報に接す

石炭鑛業會では縣炭協及び縣當局と協力、公休返上で採掘した石炭を味噌、醤油醸造用に配炭されたいと、かねて石炭廳に懇請中のところ、この程縣下の全炭鑛勞務者が公休を返上して採炭四千トン以上を出した際には、うち千九百萬トンを醸造用に許可する、但し公休返上の結果、その基本出炭を減じた場合は翌月の醸造用で調整するとの條件のもとに、一千九百萬トンの許可を與へて來たこれに依り加配用及び一般用の味そ百五十萬貫と醤油三萬石が土用前に仕込めることになつた、なお公休返上についての具體案については縣炭協で目下立案を急いでいるがいづれにせよ大きな福音である

初代事務局長橋本氏
六專門委員會も設置に決る

石城町村會の評議員會は十一日午後一時から地方事務所會議室に開き、二十五日頃結成式を擧げることに決定したが町村自治運營の萬全を期するため行政、農林、文教、民生、木木・財政の六部門の專門委員會をはじめ事務局をも設けることゝした、會長には酒井良平（大浦）副會長は渡邊國之助（植田）初代事務局長は橋本勳の諸氏

食糧調整專門委員

郡食糧調整委員會の專門委員の顔ぶれは十二日つぎのとおり決つた

吉田勝記（泉）高木格五郎（渡邊）ひる田三郎（山田）松本勝信（錦）齊藤信義（勿來）櫛田嘉平（上遠野）永山文雄（入遠野）鈴木明（川部）小野金兵衛（田人）草野隆重（飯野）山崎勝政（夏井）箱崎半吉（高久）及川正枝（江名）八代義定（鹿島）吉田龜之助（小名濱）木田周平（磐崎）高木あきら（湯本）木村[illegible]彦（內郷）鈴木榮二（好間）吉田萬吉（赤井）小沼三男（永箕）佐藤一郎（三澤）神谷市郎（神谷）新妻丑松（草野）酒井重吉（大浦）佐藤進之助（四倉）金成仙治（大野）松本豐（小川）鈴木利市（平）

學校備品の購入費造成

小名濱町食堂組合では小學校の机椅子の購入費造成のため十三、十四の二日間磐城座で歌謡劇を開演する

生活協同組合
赤井に誕生
專務に渡邊龍夫氏

松崎日本よう業工場長、橋本赤井製作所長、東北常磐石炭增產助成會事務長吉村磐城通運赤井營業所長、鈴木飲食店組合長、佐藤三平織田萬治郎、渡邊龍夫、金古正明、松山清一郎、いま田清一、船生宇三郎、等十二氏の發起でこん度赤井村生活協同組合（假稱）が結成された、消費生活の合理化をモットーに進むとあつて期待されている、なお役員は左の通り

△專務理事渡邊龍夫▽常任理事金古正明、いま田清一▽理事監事佐藤三平氏ほか十名

炭鑛野球の組合せ決定
二十二、三の兩日

石炭鑛業會並に全炭鑛共協主催の全國炭鑛軟式野球大會東部豫選のキャプテン會議は十一日東部石炭鑛業會に開き組合を左の如く決め二十二、三の兩日平商、平工兩球場で開催することになつた

◉平工球場

1高萩對小野門2山口對內郷3 1の勝者對勿來4赤井對2の勝者5 3の勝者對4の勝者

◉平商球場

1田川對木戸2岸手對山一3好間對田人4鑛業所對1の勝者5 3の勝者對4の勝者6 4の勝者對5の勝者

浮浪兒や孤兒調査
郡民生常務委員會で決定

郡の民生常務委員會は十二日午後一時から平市公會堂日本間に開き、引揚者に對する庶民金庫の生業資金貸付をはじめ季節保育所設置其他孤兒浮浪兒被虐待兒調査について協議した、なお支部長には箱崎利勝副支部長には花野宣夫田口〇三の諸氏と決定した

おいもの會を結成
自給肥料の增產を目指して

市內中平窪字桂進部落では鈴木組合長の音頭とりで自給肥料增產に一役とこんど×おいもの會×をつくつた、年間一人百駄を目標に草刈りにつとめいまゝで疲れ切つた田畑を部落民の手でよみがいらせ增產につとめようと云うもの

郡農委專任書記協議會

農問諸地題の円滑推進を期する郡農地委員專任書記協議會結成式十二日午前九時から平市湯殿山に開き、會長に淺原作衛（草野）副會長に宮本弘敎（內郷）水野五郎泉の三氏を推した

湯本雜信

◆湯本、平間の國道補裝に關し井關土木部長上村監督所長が十日來湯松柏館で入遠野、上遠野等各村長沿道の有志比佐湯本町長大井川正巳縣議等と懇談をした

◆湯本町會は十五日、追加豫算を附議

農業生產課長會議
運營と麥供出對策を協議

濱三郡農業會の支部長および生產課長會議は十三日午前十時から農業會石城支部會議室に開きこん後の運營と麥供出對策について協議する、なお同會議は毎月一回開き横の連絡を密にして增產に拍車をかける

新憲法普及講習會
平第三小學校で

市および地方事務所、憲ぼう普及會縣支部共催の新憲ぼう普及講習會は十三、四の兩日平市第三小學校に開かれる、講師は憲ぼう普及會理事鈴木安藏、東大教授ほう博中川善之助兩氏で第一日は午前十時から午後二時まで、第二日は午後二時から午後四時までなお終つてから兩氏をかこんで座談會も催すことになつており市では一般の聽講を歡迎している、聽講無料

平市五丁目
釜屋商店

初夏の味覺
マルサのアイスクリーム
階上は即席割烹
みな樣の目の前にて
お好の御料理を致します
マルサ
平二（電271）
アイスクリーム御一人樣五円

パーマネント
◆メイ化粧品部
◆優良化粧品小間物◆
メイ牛山門下
永山ツル子
平市田町六八
メイ美容室

救國貯蓄の團體別目標

郡では別面の如くこん年度の貯蓄增加目標二億五千七百萬円達成を目指してちよちく推進に全郡民の協力をもとめる

急募

女子事務員　一名
板金工　二名
熔接工　二名
旋盤工　一名

程塚鐵工所
平市彌宜町電九七三

季節保育所

本年は一町村一ヶ所目標に

石城地方事務所では農繁期をひかへて各町村に季節保育所設置を呼びかけている、昨年は二十ヶ所設置したが、ことしは一町村一ヶ所を目指して主食增產にがんばる補助金は一ヶ所五百円位の模樣

小名濱農地委員の改選

小名濱町農地委員會では中立委員長長瀨三郎、渡邊榮照兩氏が辭任したので十一日委員會を開き渡邊氏を重任、長瀨氏のかわりに西丸一氏を推薦した

けさの獲物

平署のけさの列車臨檢で網にかゝつたものは四件で白米二斗、スルメ四貫二百匁が押收された

平市五丁目
釜屋商店